

## 4－2. 第2回創造農村部会

第2回創造農村部会はオンラインで開催した。3つの参加自治体（可児市・多良木町・東川町）からそれぞれの取組を発表し、取組内容や課題などを共有して意見交換を行い、今後の部会活動についての協議を行った。

開催日時	令和4（2022）年12月16日（金）14：00～16：00
開催方法	オンライン（Zoom）
主 催	丹波篠山市
共 催	文化庁、創造都市ネットワーク日本（CCNJ）
事務局	丹波篠山市
参加人数	14名
参加自治体・団体数	4自治体
次 第	<ul style="list-style-type: none"><li>□開催挨拶<ul style="list-style-type: none"><li>・垣内由起子氏（丹波篠山市観光交流部商工観光課 係長）</li></ul></li><li>□第1回創造農村部会の振り返り<ul style="list-style-type: none"><li>・CCNJ事務局アルパック</li></ul></li><li>□3自治体（可児市・多良木町・東川町）による取組紹介発表<ul style="list-style-type: none"><li>・日比野剛氏（可児市文化スポーツ部文化スポーツ課文化係 主任）</li><li>・上村麻妃氏（多良木町企画観光課歴史観光係 学芸員）</li><li>・竹田慶介氏（東川町写真の町課 課長）</li></ul></li><li>□今後の部会について</li></ul>

### 【全体概要】

- 丹波篠山市から開会挨拶を行った後、①可児市②多良木町③東川町の担当者より各自治体で実施している創造農村の取組に関する発表を行い、発表内容を踏まえて、部員間で共通する課題や関心事を抽出するための意見交換を行った。
- 各部会員の取組や意見内容を取りまとめ、次年度以降の部会の取組に反映させることで了承を得て、最後に佐々木顧問より総括いただいた。

### 【担当者ミーティング概略】

#### 1. 3自治体（可児市・多良木町・東川町）による取組紹介発表

各自治体で実施している創造農村の取組について、詳細な事業内容等の発表を行い、その課題や効果などについての意見交換を行った。  
また、佐々木顧問よりアーツカンシル等についての解説も伺った。

### 【総括要旨】

初年度の創造農村部会は経験交流が目的である。オンラインであれば遠隔地でも議論できるが、現地でのリアル交流も組み合わせて持続的に交流すれば良い。文化庁にはそれを支援するスキームや長官表彰なども検討してほしい。

創造農村の取組は多様であり、深く掘り下げて独自路線を進み、海外との交流もできれば良い。金沢市と丹波篠山市は、ユネスコ創造都市ネットワークを使えば、海外都市も招待できる。海外の創造都市では、コロナ禍に世界中から担当者を集めて交流イベントを開催したところもあった。2012年に丹波篠山市で大規模な交流イベントを

行ったが、また検討したい。

